

巻 頭 言

九州地区大学体育連合会長 藤 井 雅 人

2020年春以降新型コロナウイルスの影響により九州地区大学体育連合（九体連）の活動も大きな制約を受けてきましたが、私の九体連会長としての任を終えようとする今、ようやく以前の形に戻りつつあります。より正確には、今年度の春期研修会を、全国大学体育連合（大体連）主催の大学体育スポーツ研究フォーラムと合同で、対面とオンラインという2つの参加形式によるハイフレックス型で開催予定としているように、コロナ禍を経て新しい技術を取り入れた、従来よりも先進的な取り組みが目指されています。まさに、コロナ禍での一時の（ただし非常に重い）停滞は、九体連の活動のイノベーションを促す側面もあったといえるでしょう。

ただ、会長としての私にとって、このコロナ禍での停滞期の象徴的な出来事として強く印象に残ったのは、九体連会員校の中から何校かが退会したこと、そしてその主な理由が「会員としてのメリットがない」ということでした。九体連の主要な事業は、夏期・春期研修会の開催と機関誌『体育・スポーツ教育研究』の発刊となりますので、それらの事業から年会費に相当するメリットを得られないと判断されたといえます。確かに、全国規模あるいは各支部主催の指導者研修会の実施、前述の研究フォーラムの開催、機関誌『大学体育』および論文誌『大学体育スポーツ学研究』の発刊、各種顕彰制度の展開等といった大体連の事業から、その九州支部の会員が享受できるメリットと比較すると、九体連のそれは小さいと認めざるを得ません。しかしながら、九体連が、4年制大学の年会費に約3～4倍の開きがあり、全国の人的資源を活用できる大体連と同等のメリットをもたらす事業を展開できるはずはありませんし、またそれを目指すべきでもないでしょう。だとすれば、今後の九体連の事業展開はいかなる方向に向かうべきなのでしょう。研修会開催と機関誌発刊という従来の事業を充実させるのは当然として、個人的にはやはり、これからの九体連の活動の鍵は（これまでもそうであったかとは思いますが）九州という地域性において大学体育をめぐる各校の強い結束をいかに生み出すことができるのかにあると考えています。九州の各大学における一般体育授業を中心とする大学体育の位置づけを強固にするための、会員校が主体的に関与する共同事業の展開、例えば橋本公雄九州大学名誉教授が様々な場で提言しておられる、一般体育授業の意義・目的に関する九体連としての、つまり各会員校が積極的に関わっていく共同研究プロジェクトの展開などは、その点で極めて効果的であるように思えます。また、既に何度も議論されてきた、九体連による一般体育授業担当資格の認定制度の発足も優れたアイデアであると思います。

2022年現在九体連と大体連九州支部の両方に加盟しているのは22校、九体連のみ加盟が24校、大体連九州支部のみ加盟が3校となっています。両方に加盟している22校は、多くの事業の選択肢の中から比較的メリットを享受しやすいことでしょう。一方で、九体連のみ加盟の24校の動向に、今後九体連はとりわけ注視する必要があると思っています。なぜなら、これらの学校は、九体連を退会してしまうと大学体育の質向上に資するFD活動の機会を少なからず失ってしまうかもしれないからです。その意味でもやはり、会員校が九体連に加盟することのメリットをより実感できるような事業展開を新たに生み出していくことが肝要でしょう。確かに、そうした新事業のための人的・財政的資源の確保の問題は無視できませんし、メリットの受け手側、つまり会員校の教職員の意識のありように、その事業の成果が左右される側面も大きいのですが、今後九体連の新体制下で議論を重ねてくだされば幸いです。

目 次

巻頭言	藤井 雅人（九州地区大学体育連合会長）	1	
I. 教育研究論文			
— 提言 —			
大学体育の目的および授業目標と評価方法	村山 光義（慶應義塾大学）	5	
— 特集「大学体育の指導における必要な知識」 —			
小中高における学習指導要領の変化と大学体育	佐藤 豊（桐蔭横浜大学）	13	
大学体育実技における学修支援についての事例報告	鶴木千加子（甲南大学）	21	
大学体育における教材としてのアダプテッド・スポーツ	宮本 彩（環太平洋大学）	29	
大学体育授業及び体育的活動における安全対策			
— 指導上の注意義務 —	入澤 充（国士舘大学）	33	
— 原著論文 —			
コロナ禍における初年次大学生の体力に関する一考察： 走歩行運動時の移動距離と心拍数，主観的運動強度に着目して …………… 高橋 恭平（熊本学園大学）石走 知子，福満 博隆，末吉 靖宏（鹿児島大学）			37
II. 大学体育連合関連情報			
九州地区大学体育連合／九州体育・スポーツ学会合同企画報告（2022年度分）		45	
第10回大学体育スポーツ研究フォーラム報告			
第10回大学体育スポーツ研究フォーラムに参加して	大坪 俊矢（福岡大学）	47	
III. 体育・スポーツ関連情報			
海外だより	川中健太郎（福岡大学）	49	
大学めぐり	高橋 浩二（長崎大学）	54	
IV. 2021（令和3）年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議			
一般発表			
①教育職員免許法施行規則第66条の6に定められる「体育」の在り方をめぐる挑戦 新しいスポーツの創作を通して運動の楽しみ方を考える授業「スポーツクリエイション」の新設事例 …………… 北 徹朗（武蔵野美術大学）			59
②大学体育授業におけるルーブリック評価表作成の試み …………… 田村 孝洋，西田 明史（中村学園大学）			60
③大学体育授業での履修者の行動と授業前後での社会的スキルの変化 — 授業開始時点での社会的スキル獲得状況に着目して — …………… 伊藤 奨（福岡大学，早稲田大学大学院）山本 泰暉，藤井 雅人（福岡大学）			61
シンポジウム：「一般体育担当教員に求められるもの」を整理する — その2 —			
企画趣旨	藤井 雅人（福岡大学）	62	
改めて「体育における心理社会的スキル教育」とは何かを問う	杉山 佳生（九州大学）	64	
ダイバーシティ&インクルージョン理解の必要性について — アダプテッド・スポーツの視点から — …………… 山田 力也（西九州大学）			66
特別講演			
これからの一般体育担当教員に求められる資質・能力 — 全国大学体育連合の顕彰制度や研修内容から — …………… 小林 勝法（文教大学，全国大学体育連合顧問）			69

優秀発表賞

優秀発表賞を受賞して…………… 田村 孝洋（中村学園大学） 73

V. 事務局報告

2021（令和3）年度 九州地区大学体育連合 事業報告 …………… 75
2021（令和3）年度 九州地区大学体育連合 決算報告 …………… 84
2022（令和4）年度 九州地区大学体育連合 補正予算 …………… 85
「体育・スポーツ教育研究」の論文投稿のご案内 …………… 86
2023（令和5）年度 九州地区大学体育連合 事業計画 …………… 87
九州地区大学体育連合規約 …………… 88
2021（令和3）年度 九州地区大学体育連合 役員名簿 …………… 89
2022（令和4）年度 九州地区大学体育連合 役員名簿 …………… 90
2021（令和3）年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人 …………… 91
2022（令和4）年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人 …………… 92
2021（令和3）年度 九州地区大学体育連合 賛助会員 …………… 93
2022（令和4）年度 九州地区大学体育連合 賛助会員 …………… 93

編集後記